

福島県空衛



地域企業の力結集

一致団結し復旧・復興支援

当協会は5月26日、福島市のホテル辰巳屋で第32回通常総会を開いた。東日本大震災から5年目を迎え、復旧・復興に向かって県環境創造センターや医療機器開発・安全性評価センターなどの各拠点施設整備が進行。被災者・避難者の居住の安定確保に向けて、復興公営住宅整備のさらなる加速化が求められている中で、地域企業の力を結集、一致団結して復旧・復興支援に取り組みとともに、今後一層の普及・拡大が見込まれる再生可能エネルギー分野の担い手として積極的に取り組むなどの事業方針を確認した。



復興支援へ会員一丸の取り組みを誓った総会



発行所
一般社団法人福島県空調衛生工業協会
発行人 松原 兼一
〒960-8021
福島市霞町9-23
(福島管工事会館)
電話(024)526-2036

福島再生へ一丸
空調衛生設備工事を通じて
地域の再生・復興に協力いたします。
会員一同

低炭素社会実現へ貢献

■27年度重点目標事業■

- 1 会員の収益性向上による経営安定に関する事業
- 2 空調衛生等設備工場の技術力向上に関する事業
- 3 関係行政機関並びに友好団体との連携強化に関する事業
- 4 国・県等行政機関並びに議会に対する、地元業者活用と分離発注等(地産地消)の陳情、請願に関する事業
- 5 若年技術者、技能者の確保と育成に関する事業
- 6 労働安全衛生の向上を踏まえた環境整備に関する事業
- 7 協会活動の広報宣伝に関する事業
- 8 IT化社会への対応に関する事業
- 9 社会貢献などに関する事業
- 10 県立テクノアカデミーへの協力に関する事業
- 11 会員の親睦に関する事業
- 12 東日本大震災および原子力災害からの復興支援の協力
- 13 社会保険加入推進に関する事業

第32回通常総会を開催



祝辞を述べる山本次長
会員36人が出席。松原兼一会長が「震災からの復興に向け、拠点となる施設の整備も着々と進んでおり、その成果が目に見えてきたが、今、復興公営住宅の一層の加速化が進法(品確法)などいわゆる担い手3法がこの4月から本格運用されたことで、受注者の責務として品質の確保と担い手育成への対応を改めて訴えるとともに、「建築設備業界の大きな課題である地球環境保全の一翼を担う」として、再生可能エネルギーの導入拡大や、浜

が求められる中、会員が地元の力を発揮し、一致団結して対応しなければならぬ」とあいさつした。
公共工事の品質確保促進法(品確法)などいわゆる担い手3法がこの4月から本格運用されたことで、受注者の責務として品質の確保と担い手育成への対応を改めて訴えるとともに、「建築設備業界の大きな課題である地球環境保全の一翼を担う」として、再生可能エネルギーの導入拡大や、浜

ろ者として、省・新エネルギー技術等を駆使し、再生可能エネルギーを推進して、低炭素社会の実現に積極的に取り組んでいこう」と呼びかけた。
来賓の山本洋一県土木部建築担当次長が祝辞を述べ、「いまだ11万人を超える県民が県内外で避難生活を余儀なくされるなど厳しい状況が続いている中で、皆さんの尽力で復興公営住宅の入居開始や被災した建築物の復旧など、県内各地から復興の光が少しずつ見えてきた。県では復興の柱となる拠点整備事業を進展させていくとともに、県

13項目を柱に事業展開

適正価格受注、分離発注推進
27年度実践スローガン決議

26年度の事業・決算報告を承認。27年度の事業計画・予算を決めた。27年度重点目標事業として、技術力向上や復興支援・協力など13の柱を設定した8部門ごとの実施細目を2面に掲載。
27年度実践スローガンを決議。「空調衛生工業の重要性と役割をアピール」「適正な価格での受注と直接発注(分離発注)運動を推進」「地球環境保全、省エネルギーやリニューアブルに積極的に取り組もう」「再生可能エネルギーを推進し、福島県の復興・再生に会員一丸となって取り組もう」を掲げた。
今総会で支部設置規約の一部改正、県南支部の呼称を「県中・県南支部」に改めた。

なるインベーション・コースト構想に基づくインフラ整備として、さまざまな事業を推進していく」と県の取り組みを示すと同時に、「今年度は国の集中復興期間の締めを迎えるが、原子力災害を抱える本県の真の復興が成し遂げられるまで、現場主義と進取果敢の精神で、さまざまな課題にスピード感を持って挑戦し、美しく豊かで希望と笑顔に満ちあふれた新生ふくしまの実現に向け、総力を挙げて取り組んでいく」として、復興再生に向けた一層の支援・協力を求めた。

本多氏を会長顕彰

総会の席上、当協会前会長で常任相談役の本多修二氏(第一温調工業)を会長顕彰した。本多氏は、建設産業の振興発展と社会的地位向上への功労により、国土交通大臣表彰(21年7月)、全国建設産業団体連合会会長表彰(26年10月)を受賞。その栄誉をたたえた。
4月1日付で新規加入した東北エアコン(草野修代表取締役社長)を、総会の場で紹介した。

人・街・未来へ

株式会社 小泉東北

代表取締役 湯浅裕達

本社 〒963-8041
福島県郡山市富田町愛宕前47-1
TEL024(952)1211(代)

仙台営業所 TEL022(372)7002(代)
会津営業所 TEL0242(32)9811(代)
石巻営業所 TEL0225(25)7445(代)
仙台南営業所 TEL022(797)7081(代)

株小泉 〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-32-5
TEL03(3393)2511(代)

空調・衛生・管工機材の総合商社

富士機材株式会社

■郡山支店 ■
〒963-0725
郡山市田村町金屋字下夕川原167-4
TEL(024)941-3621

■いわき支店 ■
〒972-8316
いわき市常磐西郷町銭田107-15
TEL(0246)72-1571

TOTO 代理店

タカムラ TAKAMURA

〒960-0180
福島市鎌田字卸町13番地の5
TEL(024)553-1464代

営業所
福島・郡山・いわき・会津・水戸
仙台・取手・宇都宮・さいたま
タイル部・未来工房

水道資材総合商社

DAI SAN

太三機互株式会社

本社 〒104-0031
東京都中央区京橋3-9-6 G・M-3ビル5階
TEL(03)3561-8761(代)

●福島営業所
福島市吉倉字前田15-1 TEL(024)546-3101
●いわき営業所
いわき市内郷御殿町1-162 TEL(0246)27-7589

SEDIA SYSTEM

郡山 S C (024)945-2105
会津若松 S C (0242)23-1122
いわき S C (0246)24-2266
福島 S C (024)535-0201
白河 S C (0248)27-2911

元気で快適な生活環境を提案する会社です

渡辺パイプ株式会社

第32回通常総会（5月26日 於・ホテル辰巳屋）で決定した27年度事業の実施細目は次の通り。

【会長直轄部門】

- ▽建築設備産業の活性化を進展させ、適正な受注活動を推進するため発注機関との懇談会の開催
- ▽広報パンフレットを媒介とする業界イメージアップ運動
- ▽国、県、公団等行政機関への陳情、請願
- ▽会員企業の労働環境整備を図るため、雇用管理研修会等の開催
- ▽社会貢献等事業の実施
- ▽福島県総合設備協会の活動及び設備三団体との連携強化に関する事業
- ▽友好団体との連携強化に関する事業

【総務委員会部門】

- 協会の運営及び活動の総括的管理を掌握し、業界活性化のための事業を行う。
- ▽協会活動の基本方針の策定
- ▽財政方針の策定
- ▽組織運営の方策の協議
- ▽定款及び諸規程の改正検討
- ▽会員の叙勲、表彰等の選考
- ▽機関紙発行に関する財源の確保
- ▽県立テクノアカデミーへの協力
- ▽会員の親睦事業の実施

【経営委員会部門】

- 会員企業の経営基盤強化を図るため、経営安定策として懇談会、研修会等の事業を行う。
 - ▽会員の経営体質の強化を図るため、経営改善研修会の開催
 - ▽新分野への調査・研究
 - ▽若年技術・技能者等の確保と育成のため、業界活動の啓発
- 【技術委員会部門】
- 建築設備技術の高度化・多様化に対処するため、施工技術の向上、積算歩掛等の実態調査、講習会及び懇談会を開催する。

- ▽公共工事の適正施工を図るため、技術講習会や関係法令勉強会の開催
 - ▽高度な設備技術を対象とした特別技術講習会の開催
 - ▽新システム（新規受託可能な分野）の技術勉強会等の実施
 - ▽工事検査評価と施工指導についての研修会の実施
- 【広報委員会部門】
- 協会の啓発、広報及び会員相互の情報交換を図るため、機関紙「空衛ふくしま」を発行するとともに業界をPRする。
 - ▽機関紙を発行するための広報委員会の開催
 - ▽建築設備業界の対外的啓発に関する事業の推進

情報共有し技術向上



安全対策の徹底を確認した大会



検査のポイントなどを学んだ研修会



講義する（上から）



三瓶主任、橋専門工事検査員、野崎主任主査



野崎主任主査は、県営繕工事（設備のみ）の今年度発注予定工事が復興公営住宅を除くと耐震改修、大規模改修、太陽光発電設置が大部分を占めることを踏まえ「厳しい



株式会社東北エアコン

（草野）
修代表
取締役
社長
▽所在

地・連絡先 〓〒962-0032 須賀川市大袋町119番0248 (76)
1952、FAX (76)
1901 〓加入年月日 〓平成27年4月1日

熱中症対策など再確認
県総合設備協が安全大会、研修会

健康確保に向けて、事故・熱中症防止対策などを再確認したほか、県工事検査のポイントや、大規模改修工事の工夫点・反省点などについて情報を共有し技術の向上を図った。

県総合設備協会（坂本幹夫会長）は7月3日、郡山市のビッグパレットふくしまで今年度安全大会・技術研修会を開いた。

健康確保に向けて、事故・熱中症防止対策などを再確認したほか、県工事検査のポイントや、大規模改修工事の工夫点・反省点などについて情報を共有し技術の向上を図った。

安全な現場運営を図るとともに、品質確保に努め、顧客に良質で満足度のいく設備を提供に生かしてほしい」とあいさつした。

安全大会では、福島労働局労働基準部安全衛生課の三瓶詔宏安全衛生係主任が「災害事例から見ると安全管理」について講義。建設業の26年労働災害発生状況や死亡災害事例などを説明した。災害発生件数が震災以降高止まりの状態、発生要因も墜落・転落など従来型災害が多数を占めていることなどを示し、改めて事故防止対策の徹底を求めるとともに、死亡災害が増えている交通事故にも注意を促した。

技術研修会は橋専門工事検査員、野崎伸吾県土木部管轄課主任主査が講師を務めた。橋検査員は26年度の工事検査結果を踏まえた留意点として①設備機器等の落下・脱落防止対策②工種別施工計画書の活用③下請専門工事の管理④耐震対策の徹底と、今後増加する工種別施工計画書の要点を押さえてマネジメンツを要するよう求めた。設備工事の検査ポイントを改めて説明。今年度の工事検査課の方針、県HPで公開している工事成績採点のプロセスチェックリストなども紹介し、良質なストック形成、地球環境保全につながることを呼びかけた。

新会員紹介
株式会社東北エアコン
（草野）
修代表
取締役
社長
▽所在

日空衛2015 新たな中期ビジョン

「低炭素社会づくりへ 排出量の10%を超えるの目に見える貢献」につ 想定されていると指摘。 いては「民生部門での空 建築基準法改正における 調衛生設備に起因するC 省エネルギー基準の義務 工業界が目に見える形 積極的な開拓」の中でも、 なCO₂削減対策を一貫 業務用建築部門が有する してサポートすることで 保はない」とし、処遇改 直しを図っていく考えを 示した。

また、日空衛が要望し、法令順守を徹底して いく決意を示した。

日本空調衛生工事業協会（日空衛、野村春紀会長）は、「日空衛2015-新たな中期ビジョン」をまとめた。①低炭素社会づくりへの目に見える貢献②リニューアブル市場の積極的な開拓③人材の確保・育成の推進④技術力と生産性の向上⑤健全経営と顧客満足度向上に向けた事業環境の構築⑥コンプライアンスの徹底による社会的信頼の確保の6つが柱。

「エネルギー（ビル）の 献していく必要性を指摘 実現など具体的な目標を 見据えながら、空調衛生 「リニューアブル市場の 顧客の条件に合せて最適 懸案とした上で「労働環

ル工事は建替工事に比べ て元請比率が高いため、 の確保・育成」が最大の ついても検討し、これら の取り組みと並行して生 産性の向上や技術革新を 進めるよう促した。

「健全経営と顧客満足 度向上に向けた事業環境 の構築」では、適正工期 と適正利益確保の重要性 を改めて確認。施工責任 の明確化と顧客満足度向 上をめぐって、分譲 びき、会員企業・団体が 発注と許可業種区分の見 「独占禁止法順守カ ー」の携行、講習会・研 修会の実施などを実行 した。また、日空衛が要望し、法令順守を徹底して いく決意を示した。

「許可業種区分新設につ いては、関係機関の理解 を得るために必要な事項 を整理し、ユーザーの立 場から見た必要性につい て検証していくとした。

「コンプライアンスの 徹底による社会的信頼の 確保」については、第21 回全国会議（26年10月） で決議した行動宣言に基 づく、会員企業・団体が 発注と許可業種区分の見 「独占禁止法順守カ ー」の携行、講習会・研 修会の実施などを実行 した。また、日空衛が要望し、法令順守を徹底して いく決意を示した。

人材育成「最大の懸案」

6つの柱 低炭素社会づくりへの貢献 リニューアブル市場積極開拓

「低炭素社会づくりへ 排出量の10%を超えるの目に見える貢献」につ 想定されていると指摘。 いては「民生部門での空 建築基準法改正における 調衛生設備に起因するC 省エネルギー基準の義務 工業界が目に見える形 積極的な開拓」の中でも、 なCO₂削減対策を一貫 業務用建築部門が有する してサポートすることで 保はない」とし、処遇改 直しを図っていく考えを 示した。

また、日空衛が要望し、法令順守を徹底して いく決意を示した。

県建産連総会

担い手3法の理念実現

建設生産システム適正化など 課題克服 着実に



県建設産産業団体連合会（小野利廣会長）の第31回通常総会Ⅱ写真Ⅱは6月2日、福島市のホテル辰巳屋で開いた。復興公営住宅建設など早期復興に向けた事業への積極的協力や、技術者・技能者不足、元下関係等建設生産システムの適正化などの課題克服に、着実に取り組んでいくことを確認した。

小野会長が「11万人を超える避難者、県民の安心・安全な生活確保のために結束して復興の加速に協力していく」とあいさつ。担い手3法の理念を踏まえて、工事ごとに利益が出る仕組みづくりを構築する必要があるとし、特に適正な工期や予定価格設定、歩切りの廃止、普通建設事業費の安定的な確保を求めているとともに「ダンピングの排除、業界の担い手である若年者等の確保・育成、社会保険の未加入対策などに力を尽くしたい」と述べた。

重点目標として①東日本大震災・原発事故等被災からの早期復興に向けての積極的協力・推進②自然災害に強い県土づくり、公共施設等構造物の耐震化・長寿命化等国土強靱化対策への積極的協力・推進③県民の安全安心の確保・地産産業の持続的発展のための公共事業の計画的かつ安定的な予算の確保推進④社会保険等未加入企業の根絶若年者の入職・育成推進⑤品確法に準拠した入札契約制度と設計積算の推進⑥建設業の労働災害防止、建設業法等建設関係法令の順守推進⑦経営力向上のための研修会開催、建産連携成団体相互理解・連携の推進⑧NPO循環型社会推進センター事業支援—を設定した。

各加盟団体の役員改選に伴う役員候補の補選も行い、副会長に当協会の松原兼一会長と諸井道雄県

吉田栄光県議会土木委員長、信原光夫東北地方整備局建設部建設産業調整官、岩城光英参議院議員が祝辞を寄せた。

先の理事会で承認を受けた27年度の事業計画を報告した。

技術向上の取り組み不断に 県総合設備協会総会



県総合設備協会（坂本 福島市のホテル辰巳屋で幹事会）は6月23日、第9回通常総会Ⅱ写真Ⅱを開いた。今総会で会則を改正し運営体制を簡素化。会則改正に伴って役員改選を行い、坂本会長を再任した。

当協会など構成3団体から63人が出席した。坂本会長が「県内建築設備業界は設計、施工、修繕、改修の各場面の最適化に第一線で取り組み、顧客と社会に貢献してきた。長年培ってきた設備技術の経験とノウハウを活用し、一層の技術向上に努めたい」とあいさつ。課題解決に向けた県等への要望活動、関係団体との連携強化などに引き続き取り組むと語った。

来賓の川音真悦県土木部管轄課長が祝辞を述べ「浜地域農業再生研究センターなど復興の柱となる事業や県有施設の太陽光発電設備設置、ふたば未来学園関連の各種事業などを進展させるためには協会の技術力、施工力が不可欠」と、復興・再生に向けて会員の一層の協力を訴えた。

会則の改正で、役員数を各協会3人ずつの計9人に変更。事業年度を毎年6月1日から翌年5月31日までに改めた。

今年度事業計画を決めた。安全大会・技術研修会を開催、新年賀詞交歓会も予定している。

新役員は次の通り。

▽会長Ⅱ坂本幹夫（常盤電設産業）▽副会長Ⅱ松原兼一（三共設備）小柳浩（いわき設備設計事務所）▽理事Ⅱ大槻博太（大槻電設工業）佐藤脩（倉島電設工業）千葉隆（倉島電設工業）川津博彰（文化設備工業）高田勝則（プレバール）齋藤義彦（エム設備設計事務所）

今回視察した秋田県立美術館は、それを新たに建て替えたものとなっており、展示のメインは藤田嗣治の「おもてなし」が重要ではないかと改めて感じたところだ。

最後にありますが、東北六魂祭ではブルーインパルスによる展示飛行も行われており、青空に描かれる軌跡を見上げている参加者の姿を見れば、震災を生き延びたことに対する感謝の念と、普段の幸せを感じるを得ませぬ。一日も早く、福島を日常を取り戻し、青空の下、笑顔で生活できるよう、今後も引き続き、業務に邁進してまいります。思い込みをなす。どうぞよろしくお願いたします。

東北六魂祭とおもてなし

県相 建設事務所 建築住宅部長兼建築住宅課長

佐瀬 守昭

市での開催となりました。震災からの復興は未だ道半ばであること、震災に伴う様々な課題を風化させてはならないこと、そして震災を語り継ぎ、東北の絆をより一層深めていくこととする思いが伝わるイベントです。六魂祭のメインは、東北各地を訪れていくことと、東北各地の復興に関心と興味深いことに気が付きます。各地の「おもてなし」に特徴があることと、どの土地のおもてなしが一番だとか順位付けは出来ませんが、それは、JRの駅を降りた時に感じたり、六魂祭のスタンプの挙動であったり、

かという事です。今の福島に必要なのは、県内のみならず、県外の多くの方々にも、福島に来て、見て、感じてもらいたいと思っております。おもてなしが欠けていけば、その場限りとなり、リピーターにならないうためにも、東北、

さらに、東北六魂祭を言い訳に、各地の建築物を（自主）視察することも楽しみにしております。今年、安藤忠雄建築研究所の設計による秋田県立美術館を見たいという声が多く聞かれます。秋田県立美術館は、平成25年に、旧県立美術館の真向かいにオープンしたものです。安藤作品らしく全面コンクリート打放し仕上げで、内部のプランニングも非常にシンプルな構成となっております。旧県立美術館は、秋田の資産家である平野政吉と画家の藤田嗣治によって、昭和11年に構想された美術館建設の夢が元になっており、戦時体制下に中止を余儀なくされたが、昭和42年によろしくや外部の血（智）が必要

この4月に相双建設事務所に着任しました佐瀬と申します。相双地域へは初めての赴任となりますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

東日本大震災そして福島第一原子力発電所の事故から4年余りが経過しました。今なお12万近くの方が県内外での避難生活を余儀なくされておりますが、この間、相双地域における数々の復旧・復興事業に係る協会の皆様の御努力に對しまして改めて感謝を申し上げます。相双地域では、今年度から来年度

さて、震災以降、皆様も何かと御多忙とは存じますが、仕事以外の時間をどのようにお過ごしでしょうか。私は、東北六魂祭への（自主）参加を継続しております。東北六魂祭は、震災直後、お祭りやイベントの自粛ムードが全国的に広がる中、震災の鎮魂と復興を願う、震災の年の7月に仙台市での開催を皮切りに、東北6県持ち回りで開催されているものです。今年、秋田

6祭りのパレードとあっており、北から、青森ねぶた祭、秋田竿燈まつり、盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、そして福島わらじまつりが登場します。福島わらじまつりが通過する際は、思わず声援が熱くなるものです。

更には全国一のおもてなしが必要なのではないでしょうか。全国各地、気風は異なるものですが、福島と合同、合わないはあるとは思いますが、本当のおもてなしがあれば、来ていただいた方々に對して、我々の思いは必ず通じるのだと思いま

す。今回視察した秋田県立美術館は、それを新たに建て替えたものとなっており、展示のメインは藤田嗣治の「おもてなし」が重要ではないかと改めて感じたところだ。

最後にありますが、東北六魂祭ではブルーインパルスによる展示飛行も行われており、青空に描かれる軌跡を見上げている参加者の姿を見れば、震災を生き延びたことに対する感謝の念と、普段の幸せを感じるを得ませぬ。一日も早く、福島を日常を取り戻し、青空の下、笑顔で生活できるよう、今後も引き続き、業務に邁進してまいります。思い込みをなす。どうぞよろしくお願いたします。

休憩室

この4月に相双建設事務所に着任しました佐瀬と申します。相双地域へは初めての赴任となりますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

東日本大震災そして福島第一原子力発電所の事故から4年余りが経過しました。今なお12万近くの方が県内外での避難生活を余儀なくされておりますが、この間、相双地域における数々の復旧・復興事業に係る協会の皆様の御努力に對しまして改めて感謝を申し上げます。相双地域では、今年度から来年度

さて、震災以降、皆様も何かと御多忙とは存じますが、仕事以外の時間をどのようにお過ごしでしょうか。私は、東北六魂祭への（自主）参加を継続しております。東北六魂祭は、震災直後、お祭りやイベントの自粛ムードが全国的に広がる中、震災の鎮魂と復興を願う、震災の年の7月に仙台市での開催を皮切りに、東北6県持ち回りで開催されているものです。今年、秋田

6祭りのパレードとあっており、北から、青森ねぶた祭、秋田竿燈まつり、盛岡さんさ踊り、山形花笠まつり、仙台七夕まつり、そして福島わらじまつりが登場します。福島わらじまつりが通過する際は、思わず声援が熱くなるものです。

更には全国一のおもてなしが必要なのではないでしょうか。全国各地、気風は異なるものですが、福島と合同、合わないはあるとは思いますが、本当のおもてなしがあれば、来ていただいた方々に對して、我々の思いは必ず通じるのだと思いま

す。今回視察した秋田県立美術館は、それを新たに建て替えたものとなっており、展示のメインは藤田嗣治の「おもてなし」が重要ではないかと改めて感じたところだ。

最後にありますが、東北六魂祭ではブルーインパルスによる展示飛行も行われており、青空に描かれる軌跡を見上げている参加者の姿を見れば、震災を生き延びたことに対する感謝の念と、普段の幸せを感じるを得ませぬ。一日も早く、福島を日常を取り戻し、青空の下、笑顔で生活できるよう、今後も引き続き、業務に邁進してまいります。思い込みをなす。どうぞよろしくお願いたします。

スバックス 津ガクレハ 設備

福島市 松江市 若松市 3市の優良工事を受賞

7月行われる3市の27年度優良建設工事表彰で、当協会から次の各社が受賞した。

【福島市】▼設備部門 いわき市役所

▽コバックスⅡ松川支所・松川学習センター移転新築（空調設備）、現場代理人・千葉誠 表彰式7月21日、於福島テルサ

【会津若松市】▼水道施設部門▽会津ガスⅡ青木配水池揚水ポンプ場更新整備、現場代理人・稲村勇樹 表彰式7月6日、於會津稽古堂多目的ホール

【いわき市】▼設備部門▽クレハ設備Ⅱ災害公営住宅勿来園団地新築給排水衛生設備 表彰式7月10日、於

工事の円滑な遂行へ

東北地整 営繕部と意見交換



東北地方整備局営繕部 協会館で開いた。復旧・と当協会、県電設業協会（坂本幹夫会長）との今年度意見交換会Ⅱ写真Ⅱは4月21日、福島市の電

協会の意見交換会Ⅱ写真Ⅱは4月21日、福島市の電

坂本会長が「本県では地域によって事情がかなり異なる。活発な意見交換としたい」と述べ、一踏まえた課題対応について解説。東北地整が営繕工の円滑化などの取り組みを紹介しながら、福島県営繕部は「営繕工事施工条件を示す資料として添付している『工事概要書』と、試行を開始した『見積活用方式』について説明した。品確法運用指針も紹介した。

これらへの対策等について、県内の施工状況を踏まえながら意見を交換し

空衛協のうごき

- 【4月】
 - ▽7日 東北空調衛生工事業協会平成26年度第9回理事会（松原会長）宮城県管工事会館
 - ▽9日 県立テクノアカデミー会津入学式（鹿目支部長）テクノアカデミー会津
 - ▽10日 大内会計による決算監査指導（猪狩専務）根本事務員）協会事務所
 - ▽15日 平成26年度決算監査会（監事・会長・会計理事・事務局）協会事務所
 - ▽15日 平成27年度第1回役員会・理事会（正副会長・理事・監事）福島管工事会館
- 【5月】
 - ▽21日 東北地方整備局営繕部との意見交換会（松原会長他・猪狩専務）協会館
 - ▽11日 県フロン回収事業協会第11回通常総会（猪狩専務）ザ・セレクトン福島
 - ▽13日 東北空調衛生工事業協会第12回定時社員総会・懇親会（松原会長）仙台・パレスへいあん
 - ▽19日 県建設産業団体連合会平成27年度第1回参与会（猪狩専務）県建設センター
 - ▽20日 日本空調衛生工事業協会平成27年度定時総会（松原会長）東京・帝国ホテル
 - ▽21日 NPO循環型社会推進センター平成27年度第1回役員会（猪狩専務）県建設センター
 - ▽22日 県建設協会第4回定時社員総会（松原会長）ウェディングエルティ
 - ▽22日 県建築設計協同組合海外研修報告会（猪狩専務）ホテル辰巳屋
 - ▽26日 当協会第32回通常総会・正副会長支部長総会議長会議（松原会長）ホテル辰巳屋
 - ▽28日 県建築士事務所協会第3回定時総会懇親会（松原会長）ホテル辰巳屋
 - ▽29日 県電設業協会第65回定時総会懇親会（松原会長）ホテル辰巳屋
 - ▽29日 NPO循環型社会推進センター平成27年度通常総会・講演会（松原会長・猪狩専務）県建設センター
 - ▽2日 県建設産業団体連合会第31回通常総会（松原会長・猪狩専務）（松原会長・猪狩専務）ホテル辰巳屋
 - ▽2日 第1回広報委員会（千葉副会長・広報委員長）協会事務所
 - ▽2日 第32回県建築文化賞に係る主催者・後援団体合同会議（猪狩専務）自治会館
 - ▽4日 第1回経営委員会（石田副会長・経営委員長）協会事務所
 - ▽5日 県歴史的建造物保全活用促進協議会第2回総会（猪狩専務）ホテル辰巳屋
 - ▽11日 第1回総務委員会（千葉副会長・総務委員長）協会事務所
 - ▽11日 第1回技術委員会（技術委員）協会事務所
 - ▽12日 県浄化槽協会第3回定時総会・講演会・懇親会（猪狩専務）ウェディングエルティ
 - ▽15日 県建設産業団体連合会平成27年度第2回参与会（猪狩専務）県建設センター
 - ▽19日 県建築安全機構平成27年度第1回理事会（猪狩専務）県建設センター
 - ▽3日 県総合設備協会安全大会・技術研修会（松原会長）ホテル福島グリーンパレス
 - ▽23日 県総合設備協会第9回通常総会（松原会長・他会員）ホテル辰巳屋
 - ▽26日 県建築士会第65回通常総会表彰式・懇談会（松原会長）ホテル福島グリーンパレス
 - ▽3日 県総合設備協会安全大会・技術研修会（松原会長）ビッグパレットふくしま
 - ▽19日 県建設産業団体連合会・自民党県連幹部との懇談会・懇親会（松原会長・猪狩専務）ザ・セレクトン福島
 - ▽21日 TPP交渉における国会決議の実現に向けた福島県集会（猪狩専務）ビッグパレットふくしま

仕事に打ち込む技術者応援

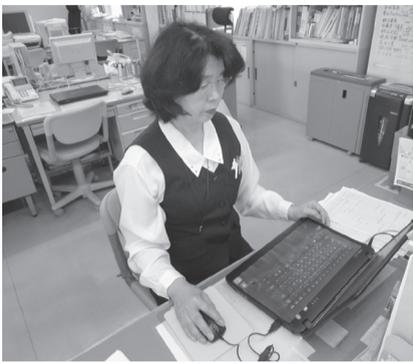
私の仕事は、実際に現場で仕事をする方たちの手助け役です。言ってみれば、会社組織の、女房役…では少し大げさなので、お手伝いさん代わりと思います。

現場の仕事がスムーズにいくように、事務処理を遅滞なく進め、現場に支障が出ないように努めています。

この会社に入社して、はや23年になり、自分でも驚くほど長くお世話になっていきます。

設備工事が専門の会社なので、働く環境もよく、夏涼しく、冬暖かく、気が付くと10年以上、風邪ひとつひか

山田設備工業(株)
佐藤 弘 子さん



花籠

ずい快適に勤務しています。わからないこと、疑問に思ふこと、改善すべきこと、これらを、そのままにしないで、次につなげられるよう、考えながら、仕事を進めていくと、飽きることなく、わくわくする新しい発見が生まれます。

良い結果が出たときの喜びは何物にも代えがたい、喜びです。会社に掲示してある、私が大好きな言葉なので、皆様にも紹介いたします。

今日一日、怒らず、怖れず、悲しまず、

正直、親切、愉快に、力と勇気と信念を持って

自分の人生の責務を果たし、

恒に平和と、愛を、失わざる

立派な人間になることを

厳かに誓います。

心が洗われる思いです。

今後もお客様に、満足いただける仕事をするために、真剣に取り組む技術者の惚れ惚れする姿を間近に見ながら、少しでも役に立てようという心がかたいと思



編集後記

観測史上一番遅い入梅の時節。皆様方には、如何お過ごしでしょうか。私の幼少のころは会津では、入梅時には雷で始まり、梅雨明け時にも雷が鳴り終わるといった感じでしたが、最近ではいつ頃から入梅、いつ頃梅雨が明けたのかと季節感

テクノアカデミー 小林さん会長表彰
建築設備業界での活躍期待

当協会が、県立テクノアカデミー会津・職業能力開発校の電気配管設備科卒業生に対して行っている表彰で、26年度は小林和樹さんに会長賞を授与した。

協会事業の推進と斯業奨励の観点から、成績優秀で設備関係の資格取得に熱意を持って取り組んだ卒業生を毎年表彰している。平成9年度から行っており、26年度は3月17日の卒業式で、鹿目寿会津支部長から伝達し上げます。

県内でも公共事業をはじめ復興公営住宅建設各地域の除染作業等の建設工事が多々あります。が、人手不足・資材不足高騰が広がり、続いている状況にあります。

世界経済状況でもギリシャ問題等予期せぬ動向に鑑み、日本経済との今後の動向も大いに気になります。東京五輪に向けた経済効果と地方再生を期待して筆を置きます。

総合建設資材取扱商社

高田産商株式会社

代表取締役社長 沼田 重一

営業本部
〒961-0831 福島県白河市老久保126-1
TEL 0248-27-8800(代)
FAX 0248-27-2923

本社・工場
〒963-6131 福島県東白川郡棚倉町字中居野96-1
TEL 0247-33-3101(代)
FAX 0247-33-2142

郡山営業所
〒963-0726 福島県郡山市緑町29-7
TEL 024-944-6330(代)

いわき営業所
〒970-8036 福島県いわき市平谷川瀬字仲山町70-1
TEL 0246-38-8831(代)
FAX 0246-38-8832

スピード・技術・確かな知識

隙間産業の頂点を目指します

株式会社 日伸

会津支店/会津若松市町北町大字上荒久田字宮下63
TEL (0242) 39-2244

二本松支店/二本松市油井字野辺38-1
TEL (0243) 62-4766

小林さんは授業態度が勤勉で、資格取得にも熱心に取り組む、他の学生をけん引するなど、卒業後は建築設備業界で活躍が期待できるものと評価された。